

秋田県議会議員一般選挙
(大館市選挙区)

選挙公報

令和5年4月9日執行
秋田県選挙管理委員会

これから「実現したいこと」

- 1 生活が第一、市民生活向上で暮らしに安心
- 2 森林、林業、林産業活性化で100年後も維持へ
- 3 有機農業を推進し所得倍増へ
- 4 扇田病院を高齢化社会に対応するモデル病院に

これまでに実現したこと

- 1 がん患者へのウィッグ・乳房補正具購入費用助成制度の創設
- 2 秋田県木材利用促進条例の制定
- 3 高校通信制課程のスクーリングを大館で実施
- 4 秋田県議会での非核平和都市宣言決議

一人の百歩前進より百人の一步前進

生活が第一。

QRコードもチェック▶

「公助」が大切な時代 セーフティネットを拡充

学校給食の無償化と高校への拡大

所得の格差が拡大し、この「格差」が「貧困の連鎖」を引き起こしています。「教育を受けられない貧困の連鎖」を見逃すわけにはいきません。県や市町村の教育予算を確保し、給食費など就学にかかる保護者負担を軽減します。

出産育児一時金100万円プラン

出産だけでなく育児にも費用はかかります。むしろ、オムツやミルク、服、チャイルドシート等々、出産後にかかる費用のほうが何倍も大きな負担です。安心して子育てができる生活・社会環境を整えるため、「出産育児一時金100万円」の実現をめざします。



石田
ひろし

小棚木政之 プロフィール

昭和42年大館生まれ。大館鳳鳴高、大東文化大学経済学部経営学科卒。医薬品卸売会社を経て平成11年、ホームページデザイン会社を起業。19年キャリア教育の推進などを訴えて大館市議に当選、4期16年。建設水道、総務財政常任委員長、監査委員、副議長などを歴任。大館まちづくり協議会会長、NPOひととくらしとまち大館ネットワーク事務局長（キャリア教育）、NPO大館・小坂鉄道レールバイク理事（いずれも前職）等まちづくり活動も実践。鳳鳴会（同窓会）副会長、大館東中同窓会会長、市視光協会副会長、社会福祉法人や学校法人、医療法人などの理事・評議員なども務める。趣味は鉄道旅行、写真撮影、登山、郷土史・民俗学研究、弓道四段。妻と次女の3人暮らし。



新たな切り口を拓く
55才

odanagi.com

誇りある、課題解決先進県へ

DX導入日本一を目指す

- ・面積広大で人口が少なく課題多い秋田こそデジタル技術を活用すべき
- ・事務、管理業務が多い行政はDXに向いている
- ・民間でのDX導入を支援
- ・農業や医療、福祉分野など多様な産業での先進的活用者を増やす取り組み

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して社会をより良いものへ変革すること。

子育てで日本一を目指す

- ・「5時から育メン」（出産家庭の男性の早期退社）制度の創出・支援
- ・デジタル化、自動化による人間力低下をフォローする教育活動支援
- ・中高接続の課題解決

急速な人口減少への対策強化

- ・健診率の向上促進
- ・遠隔医療の実証実験
- ・買い物難民、交通弱者対策の早期強化

人口減少（流出）が続く、ワースト1が多い秋田県は「課題先進県」と言われますが、日本の行く末の縮図とも言えます。こうした問題を秋田がどう解決するかを全国が注視しています。秋田から人が出ていくのは先が見通せないからだと思います。課題解決の糸口を先端技術に求め、より強く推進することで秋田県は、「課題解決先進県」へ大きく変わることでしよう。人口減少や少子化の問題は一朝一夕には解決できません。まずは今ある社会を疲弊させず、次の世代へバトンタッチできるように、少ない人口でもやっていける社会を作る、変革する。そうした挑戦を子どもたちに見せることで希望を抱いてほしい。秋田にいても良いんだ、秋田で頑張りたい、というひとを一人でも多く増やしたいと思えます。後世に誇れる秋田を作りたいです。



おだなぎ
政之

- 健全財政運営の実現
- 地域の特徴を生かした行政施策の実現
- 行財政改革による歳出削減

- 健康促進
- スポーツ振興による青少年の健全育成、中高年の健康促進

- 教育文化の向上とスポーツ振興
- キャリア教育、グローバル教育の充実
- 県内の芸術文化活動の充実、市内公共施設の活用

- 産業の振興と活力ある地域づくり活動
- 食料安全保障としての林業の振興
- 地域温暖化対策としての林業の振興
- 道路体系及び生活インフラの整備
- 近隣市町村と連携した観光振興の実現
- 農業を含みすべての地域産業の所得水準の向上
- 行政、官民一体となった活力ある地域づくり活動

- 少子化対策、人口減少問題及び長寿社会への対応
- 若者、女性が希望を持てるような諸施策の推進
- 高齢者にとっても住み良い福祉環境の充実

- 試練に立ち向かう政治の実践
- 災害復旧を全力で推進
- 新型コロナウイルス感染症、地球温暖化による自然災害の克服

- 新しいコロナ感染症、地球温暖化による自然災害の克服
- ロシアのウクライナ侵襲による国際的緊張の緩和

- 私が特に力を入れて取り組む政策

- 厳しい社会情勢に立ち向かう

- さとう賢一郎の政治理念

- 地域住民の幸せを守る

- 厳しい社会情勢に立ち向かう

- さとう賢一郎の政治理念

- 地域住民の幸せを守る

- 厳しい社会情勢に立ち向かう

- さとう賢一郎の政治理念



自由民主党公認
さとう賢一郎

プロフィール

昭和19年4月4日生まれ
大館鳳鳴高等学校卒業
慶応義塾大学工学部中退
秋田県議会議員（連続8回当選）
秋田県議会議員
自民党秋田県支部連合会幹事長
自民党秋田県支部連合会会長
花矢商工会会長
全日本スキー連盟会長
秋田県体育協会会長
秋田県トランポリン協会会長
大館市野球協会会長 等を歴任

https://www.yoichi.gr.jp

すずき洋一



人口の社会減には鈍化の兆しが見えます。しかし、少子化・人口減少が秋田県の最大の課題であることに変わりはありません。この課題に果敢に取り組み、人口減少社会にあっても活力を保つために、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントランスフォーメーション）を推進しながら次の5つを活動の指針として、デジタル人材の育成などの種々の政策を力強く進めてまいります。

農林業の振興

米を主要作物としながらも、メガ団地造成などにより進んできた農業の複合経営化をさらに推し進め、中山間地農業を守り、経営規模の改善を図り、販売戦略を立てて（魅力ある農業）（儲かる農業）を確立します。

日本一の保有量を誇る人工林の活用を進めるため、林道網の整備などにより生産コストの低減を図るとともに再造林に力を入れ、秋田県が、秋田杉が国産材時代をリードしていきます。

社会基盤の整備

高速道路の未開通部分の一日も早い解消、老朽化した橋やトンネルなどの再整備、気象変動により頻発する自然災害に対する防災対策など県土の強靱化、そしてDXを推進するための情報通信インフラの整備など県民の命・暮らしに安全・安心な社会基盤を整備していきます。

住みよい秋田
住みたい秋田
教育・スポーツの振興

秋田県の子どもたちは優秀です。全国学力テストは常にトップクラス、これは全国に先駆けて少人数学級やチームティーチングなどを進めてきた成果です。その枠を高校教育にも拡大させ、奨学金制度の更なる充実や大学を初めとする高等教育にかかる費用負担の軽減を図ります。スポーツは県民に活力や勇気、喜び、感動をもたらします。スポーツ王国秋田の再興を図り、健康寿命日本一の実現にもつながるスポーツを県民誰もが気軽に楽しむことができる環境をつくっていきます。

福祉の充実

全国的に見ても見劣りしない秋田県の子育て支援策をさらに充実させ、若い人たちの子育てにかかる経済的負担を軽くし、産み育てやすい環境を構築します。健康寿命日本一。を実現する各種取り組みを進め、日本一の高齢者県である秋田県が「日本一健康な高齢者県」になることを目指します。

雇用の場の拡大と賃金水準の向上

求職者の多様なニーズに応えるため、IT産業や風力発電、自動車・航空機関連などの先端産業、高度な知識や技術が要求される試験・研究・開発機関など多種多様な企業の立地を進め、同時に賃金水準の向上を図り女性がこれまで以上に活躍できる環境を整え、就職・進学のために都市部に出ていった人々を秋田に呼びもどす、あるいは呼び戻します。



自民党公認
すずき
洋一

最大の課題 少子化・人口減少問題に取り組み、秋田への移住・定住を促すために

秋田県議会議員一般選挙
(大館市選挙区)

選挙公報

令和5年4月9日執行
秋田県選挙管理委員会



あなたが動けば

あきたが動く

4月9日

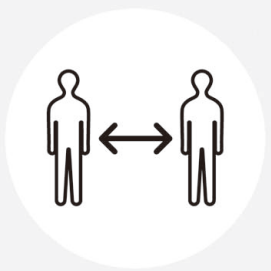
秋田県議会議員一般選挙

期日前・不在者投票は8日まで

投票所では感染症対策を講じています



入場時の消毒



距離の確保



定期的換気

ご協力よろしくお願いいたします

秋田県選挙管理委員会
秋田県明るい選挙推進協議会

〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1番1号
TEL:018-860-1145 [秋田県選管](#)

